

令和元年 12 月 16 日 第 3 回草津市教育振興基本計画策定委員会議事録

(出席委員) 糸乗前 委員長、山本好男 副委員長、中瀬悟嗣 委員、佐々木昭道 委員、
内田雪絵 委員、湯浅敦 委員、麻植美弥子 委員、岡典子 委員

以上 8 名

(欠席委員) 田口ひろみ 委員、高木淳善 委員

(事務局) 川那邊 教育長、居川 教育部長、畑 教育部理事 (学校教育担当)、山本 教育部副部長 (総括)、江竜 教育部副部長 (学校教育担当)、松浦 企画調整課長、山田 健康増進課長、岩城 子ども・若者政策課長、河合 子ども未来部副部長、宮田 子ども家庭課長、宮嶋 幼児施設課長、田中 教育総務課長、相井 生涯学習課長、織田 スポーツ保健課長、藤崎 スポーツ大会推進室長、岩間 歴史文化財課長、八杉 街道交流館長、武村 図書館長、京近 学校教育課長、成田 児童生徒支援課長、門脇 教育総務課係長、坂 教育総務課主任

1 開会

2 糸乗委員長挨拶

【委員長】：教育振興基本計画策定委員会も第 3 回となり、内容を事務局で検討してよりよいものになっていると感じます。本日は最終的な仕上げを含めて、よりよい議論になればと思います。ご審議をよろしくお願いします。

3 草津市教育振興基本計画（第 3 期）案について

～ 資料説明 ～

【委員長】：資料説明について意見、質問があればお願いします。

【委員】：P59 の件、ありがとうございました。唯一、すこやかセミナーについては、確かに 14 学区が全部やっている訳ではなく納得していますが、やれている所と、やれていない所があるのなら、やれている所に光を当てる方がモチベーションの向上に繋がり良いと思います。
青少年育成の部分の記載も、良い表現と思います。

【委員】：P51 現在形、過去形の表現、漢字とかなの表現など、語感の統一を考えたら良いと思います。用語集に記載される言葉には最初のページに記載したら良いのではと感じます。性教育に関して踏み込んだ視点で表現していただき、ありがとうございます。

【委員】：前回、地域協働合校の件でいろいろと考えて、直していただきましたが、もう一步、踏み込んでお願いした箇所があります。地域協働合校には二本の柱があり、同じ学区の人間でも学校の中でコミュニティ・スクールに関わる人、まちづくり協議会の中で関わる人がいて、双方とも地域協働合校にも関わっています。連携して、より一層良いものにする取組が市民に伝わる文言を考えて欲しいと思います。資料のP88には、第2期の資料にも書かれている事ですが、地域協働合校の推進の主体が解るように明示してもらいたいです。国よりも先んじて地域協働合校を推していた草津市だからこそ子どもたちに向けて教育的観点を盛り込んだ地域協働合校をつくり、ブラッシュアップする必要があると思います。

貧困の問題について子ども食堂が出てこないの、指標に設定するなど基本計画に盛り込んで光を当てて欲しいです。

人生100年時代の到来ということで、新たな4本の柱を出した事で生涯学習と歴史文化も充実していますが、P31には生涯学習の施策が少ないです。スポーツが多いので、もう少し生涯学習についての言葉が足せるなら足した方が良いでしょう。

文化拠点施設の整備・充実を図るという施策ですが、クレアホールもアミカホールも老朽化が進んでいます。手立てをして欲しいと思います。

文化の推進について、大人主体で子どもが出てこないの、子どもの言葉が出て欲しいと思います。

通学路の問題で、防犯カメラの設置の質問をされている議員がおられましたが、防災、防犯、子育てという言葉に加え、通学路の防犯、防災という言葉も入れてもらえたらありがたいと思います。

【事務局】：これまでのご意見について、漢字とひらがなの表記は確認の上、修正します。成果の記載が進行形と完了形の表現が混在していましたが、成果なので基本的には完了形に修正するようにいたします。

【委員】：進行形があっても良いかと思っていますが、基本は完了形だと思います。

【委員】：今回追加された「繋がり」も含め、漢字、ひらがなの統一も必要だと思います。

【委員】：「繋がり」はひらがなの方が柔らかくなると思います。

【事務局】：用語集に該当する言葉には印を入れるなど、わかりやすくしていきます。

【事務局】：地域協働合校の取組は地域主導と学校主導の2つあると思っています。ご意見を踏まえて、まちづくり協働部とも調整し、記載内容を検討したいと思います。生涯学習について多くの取組がございますが、全体のバランスを見ながら記載内容の修正を進めていきます。

文化・芸術の拠点整備の話ですが、老朽化対策については総務部でファシリテスマネジメントもしており、順次、改修をしているところです。

文化振興計画には、重点プロジェクトに、次世代の文化体験プロジェクトがあ

り個別計画で進めていきたいと思ひます。

【事務局】：防犯カメラと防犯、防災の記載がないという事ですが、本編の前の方に書くと教育委員会が率先して通学路に防犯カメラを設置するやうな印象にもなるため、P36に防犯防災との連携を記載しようと思ひます。

【事務局】：子どもの貧困に関してご意見がありました、以前なかった部分ですが、P13の基本方向1に「生まれ育った環境に左右されることなく」と、P18の施策1の中に「教育にかかる経済的負担の軽減や…」という部分で貧困対策を入れています。全体的な中でもボリュームを検討し、子どもの貧困対策は子育て支援も該当するので、集約しています。その中で、子ども食堂については、貧困対策の位置づけであれば誰でも参加できる部分であり、県の事業ということもあり市で指標を設定するのは難しいです。ひとり親家庭や生活保護世帯を対象にした居場所づくり事業を実施しており、週1回、市役所の横とフェリエで貧困家庭の中学生の学習支援と食事の提供をしています。指標の設定については、そういう部分で研究していきたいと思ひます。

【委員】：あと3つあり、P32の施策29に令和6年度開催と入れてもらえたらわかりやすいと思ひます。P30の市民意識調査は、地域協働合校と言うものを知っている人に対する満足の割合で良いのでしょうか。

【事務局】：市民全体です。認知しているのかどうかというのものもあると思ひますが、この取組自体に理解を示している人数です。

【委員】：全国に先駆けている事業にもかかわらず、草津市民に認知度が低い問題があると思ひます。認知度をあげる事に焦点をあてることができればと思ひます。携わっている人間が満足しているか否かを問えば、満足していません。なにかしら不満があるはずで

もう1つ、前期もそうでしたが、計画に保護者が出てこないです。保護者、学校、地域の3本柱であるはずが、保護者の登場が少ないと思ひます。保護者と教職員の会であるPTAを前面に出してもいいかと思ひます。上手く連携して学校運営に携われる方法があればいいと思ひます。平成14年度から学校が週5日制になり父親が学校に行く機会が無くなった事で結びつきが希薄になっているのですが、就業している保護者が学校に関わる機会を増やして行ければと思ひます。

【委員】：保護者の観点について考えると、学校からの情報発信はありますが、保護者、PTA、地域の人意見を吸い上げる方法がありません。保護者の要望、願いを学校に届け、学校と相互に情報交換できる場が必要と思ひます。

【委員】：P19食育の部分について、アレルギー対策、食育に関するコメントを入れてほしいです。

P20の配慮が必要な子どもは、保護者自身が早期発見することは難しいので、周りの人が気づくことが大切と思ひます。市は早期発見の対策を講じてほしい

と思います。

- 【委員】：乳幼児健診は何回くらいあるのですか。3回くらいですか。あと、保育園や幼稚園に入るときが発見の機会です。健診で発見できないで保育園や幼稚園に入る機会がない子どもは、早期発見できないケースが増えていると思います。
- 【委員】：早く発見して、その子どもに適切に対応し、周りの人が子どもの行動を理解し成長してほしいと思います。
- 【委員】：配慮の必要な子どもに対して、いまだに育て方が悪いだとの考え方が残っているのが残念です。早期発見し、周りがサポートする方が、その子のためにも、保護者のためにもなります。
- 【委員】：保護者が理解できて、仲良くして一緒に学ぼうとはなっていない状況です。
- 【委員】：弱視の子どもの場合は、3歳児半健診で見逃すと、年齢的に治療の機会を逃すので、「3歳児半健診では目の検査が大事です」ということを、保護者や社会全体に啓発していくことが必要です。
- 【事務局】：乳幼児健診や乳幼児の訪問を実施する中で発見し、発達支援センターにつないでいるケースもあります。インクルーシブ教育の中でも記していますが、さらに明確に書くように考えます。
- 【委員】：守山の小児保健医療センターに検査を案内して、その検査結果を受けていますか。
- 【事務局】：就学前のところで丁寧に見ているところです。その後、課員やことばの専門家などが子どもに対応し、保護者へも理解していただくよう働きかけをしています。現在、200人近い子どもたち一人ひとりに専門員が対応しています。その段階で保護者にご理解いただけない場合、継続して小学生の段階でもご理解いただけるよう対応しています。計画書に書き込めていない部分については記載していきたいと思います。
- 【委員】：目が悪く黒板が見えないと授業についていけないことになります。子どもからの発信が難しい分野なので、留意していただければと思います。
- 【委員長】：アレルギー関連のご意見はありますか。
- 【事務局】：前回計画ではアレルギー対策やメンタルヘルスの項目については記載していましたが、今回はありません。ご意見をいただきましたので、掲載に向けて検討させていただきます。
- 【委員】：施策29の第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の開催年の記載についてはいかがでしょうか。
- 【事務局】：開催年の「令和6年度」を記載します。
- 【事務局】：保護者の件はP35「家庭の役割」の中で保護者への期待を記載しています。
- 【委員】：P24 教職員の指導力向上について、教職員間連携に関しては小中だけでなく、幼児教育の職員についてはどうですか。
教育研究所の活動について、教育研究所の役割は「学校教育」の研究ですか。

遊びから学ぶという幼児教育も指導力向上に含まれるのでしょうか。

【事務局】：幼児教育と学校教育の円滑な接続に向けて相互に研修をしています。中学校区ごとの実践交流会などの中に幼稚園・保育園等が入って、実践を積み重ねています。また、教育研究所で幼稚園対象の講座も開催しています。

【委員】：教育研究所が小中だけでなく、幼児教育に関することも実施しているのであれば記載してもらったらどうかと思います。

【委員】：P20 施策7インクルーシブ教育について、捉え方として「障害のある子どもの教育・・・」ではなく、「健常者と障害を持っている子がどのようにして教育を受けていくか」が大切です。「健常者とともに・・・」のような表現を記載していくべきです。

【事務局】：インクルーシブ教育にはそのような記載はありませんが、施策3の人権教育で記述しています。施策7にも、さらに触れる方が良いのかご意見いただければと思います。

【委員長】：P90用語集で、インクルーシブ教育の説明をしてもらえたら良いと思います。

【委員】：学校運営協議会には必ず保護者が入りますし、教育委員にも保護者の方が入っておられたと思います。

【委員】：コミュニティ・スクールと学校運営協議会の違いがよく分からないと思います。コミュニティ・スクールと学校運営協議会は同じと考えているが、P91用語解説では違うものと記載されていますし、文中でのコミュニティ・スクールの言葉の使い方が統一していないと思います。コミュニティ・スクールが会議なのか学校なのかが不明です。P26 施策15のコミュニティ・スクールの使い方も違うと思います。P94の地域協働合校との違いも分からないので、それぞれどう違うか、教えて欲しいです。

また、用語解説の文章が非常に難しいので、分かりやすくしてほしいです。計画の文章中もアセスメント、ユニバーサルデザイン化、ハイブリットなど、一般の人には分かり難い言葉が多いので、修正を希望します。

【委員】：学校運営協議会を展開して、運営するのがコミュニティ・スクールと理解していたのですが、違うのでしょうか。

【委員】：学校では日常的に、学校運営協議会の会議をコミュニティ・スクールと表現して使用しています。

【事務局】：学校運営協議会を設置している学校をコミュニティ・スクールと称しています。言葉の使用方法が統一されていないとの指摘がありましたので、訂正させていただきます。

【委員】：全般にカタカナが多過ぎると思います。カタカナにすると言葉の意味が弱くなるので、留意が必要です。P55 例えば「スムーズ」が「円滑」の表現でもよいのではないですか。見直してはどうでしょうか。

【教育長】：以前、国は漢字使用に積極的でしたが、その後カタカタ使用に寛容になってい

ます。計画書はご意見に沿って見直していきたいと思います。

【委員】：P22「施策10 基礎学力向上のための取組の充実・・・」について、「土曜日及び・・・学びの教室・・・」の学びの教室は誰でも参加できるのでしょうか。どういう生徒が来ているのか。「平日の放課後に放課後自習広場・・・」はどのような内容でしょうか。

【事務局】：学びの教室は小学4年生から中学3年生を対象に、市内6か所で設置しています。誰でもどこの教室にも参加できます。参加費（テキスト代・保険代）は年間4,000円です。運営は外部委託して、子どもたちに教えています。学年別に45～50分の授業時間です。

放課後自習広場の対象は小学校1年生から3年生です。学校の教室を使用し支援員2名を配置して子どもを見ています。子どもの安心安全については、5、6年生が帰宅する時間に合わせて小学校1年生から3年生の子どもたちが一緒に帰宅できるような広場の終了時間を設定しています。放課後自習広場では自学自習が原則です。

【委員】：保護者は学びの教室が4,000円/年が必要だということを知っていますか。

【事務局】：周知していますので、知っておられると思います。

【委員】：参加者は何名ですか。

【事務局】：約200名です。

【委員】：場所によって人数の偏りがありますか。学びの教室は6か所ですね。

【事務局】：偏りはありません。6か所です。

【委員】：学校の先生は学力向上を目指してがんばっているのです、この施策の効果を示してほしいと思います。

【委員】：この取組はおもしろいです。私も支援員として参加しています。

【委員長】：「学びの教室」「放課後自習広場」の説明を用語解説で行えば、保護者以外の方にも理解をいただけたと思います。

【委員】：この取組は、将来に成果が出ると思います。

【委員】：P22 施策10 一行目「少人数学級編成・・・」の「成」は誤りで、「制」が正しいです。

【事務局】：修正いたします。

【委員長】：意見もある程度出そろったようですが、この後の進行はどのようにいたしますでしょうか。

【事務局】：皆様の各委員のご意見・ご要望、ご質問への対応について協議したいので、10分ほどの休憩をお願い致します。

【委員長】：休憩の提案がありましたが、いかがでしょうか。休憩までに他に意見はありますか。

【委員】：P23の成果指標の「家で自分で計画を立てて勉強している」と答えた児童生徒の割合は高いですね。

- 【委員】：小学校はよく分かりませんが、中学校は平成 30 年度の 51.8%は低いなと思います。
- 【委員】：期待に対して低いのか、現実に対して低いのかどちらでしょうか。
- 【委員】：両方ですね。現実はもう少し高いと思います。1 割ぐらいは高くあってほしいです。私の実感としては、もっと高いと思います。
- 【委員】：子どもはスマホやゲームをしている時間が長いので、家で勉強するのは短いと思いますが、データでは高いとなっています。その事情を聞いたかったので質問しました。
- 【委員】：中学生より小学生が高いのはショックです。
- 【事務局】：データは、全国学力・学習調査の結果です。全国平均と比較すると、令和元年度では小学校は平均より少し下、中学生は少し上となっています。草津市は毎年上昇しています。
- 【委員長】：それでは 10 分間の休憩とします。

～10 分休憩～

- 【委員長】：今回が最後の会議ですので、今後の進め方について事務局から説明させていただきます。
- 【事務局】：まずは、いただいたご意見のうち修正が必要な個所についてご確認をお願いします。
- 「繋がる」「つながる」など漢字、ひらがなの混在について確認のうえ修正します。
- 地域協働合校が地域主体と学校主体の 2 本柱であることを強調することについて協議のうえ修正いたします。
- 生涯学習の取組が少ないとのご意見について追加を検討します。
- 市長部局の例示の中の防犯防災を追加します。
- スポーツ大会の開催年度を追加します。
- インクルーシブ教育の早期発見の観点について、追記を検討します。
- アレルギー対策については取組に追加します。
- 教職員の連携における幼児教育職員の追加について確認します。
- 用語集が分かりにくい部分、カタカナが多いという点は見やすく分かりやすく修正します。
- コミュニティ・スクールと学校運営協議会の使い分けについては再確認します。
- 「少人数学級編成」を「編制」に訂正します。
- 以上、漏れ等がございましたらご指摘をお願いします。
- 【委員】：「学びの教室」「放課後自習広場」の説明を用語集に記載をお願いします。

- 【委員】：用語集の地域協働合校について。私の理解では地域協働合校は事業体と思っています。現在の説明文では分からないので、事業が中心であることを明示してほしいです。
- 【委員】：P94 の地域コーディネーターについて、学校主導のことに関わるだけなのか、まちづくり協議会がされる地域協働合校へも関わるのか、分かりません。
- 【事務局】：地域コーディネーターは学校に配置しています。学校の学びに地域の方が応援していただくようにするのが主たる目的ですが、地域から学校とのつながりづくりを求められる場合もあり、その役割も担っていただいています。
- 【事務局】：今後の進め方としては、再度の会議を開くのは難しいので、委員長、副委員長に訂正・追加等をご確認いただいた後、答申をいただければと思います。答申後に各委員あてに計画案を配布させていただこうと思います。
- 【委員】：一任いたします。
- 【委員】：最後の会議にも関わらず多くのご意見がありました。事務局もまとめるのが大変だと思います。より良い会議の進め方について再考していただければと思います。
- 【委員】：学びの教室ですが、今後増やす計画ですか。民生委員がやっていますか。
- 【事務局】：学びの教室は業者に委託しています。
- 【委員】：学びの教室を広報すると希望者が増えると思いますが、対応できますか。
- 【事務局】：随時、検討します。
- 【委員】：児童生徒の下校の方法はどのように考えていますか。現在は業者に頼んでいますか。
- 【事務局】：保護者の責任の元での送り迎えです。安心安全の対策の一つとして保険に入っています。
- 【委員長】：せっかくですので、各委員から最後に一言ずつお願いします。
- 【委員】：この会議に参加することが、自分のためにもなってありがたかったです。完成度の高い計画案になったと思います。携われたことに感謝いたします。
- 【委員】：第2期では教育委員で、計画の施策に文言がないと実現できないことを経験していたので、会議に参加したいと強く思っていました。第2期からは、文化の項目が増えて喜んでいきます。ありがとうございました。
- 【委員】：色々な新しいことを学ばせていただき、ありがとうございました。
- 【委員】：今回は性教育について問題提起し、計画に反映していただきありがとうございました。この問題は心の傷につながりやすいので、丁寧にしていきたいと思えます。次の計画に入れるべきは、シチズンシップ教育かと思えます。ありがとうございました。
- 【委員】：せっかく知恵を出し合って作られた計画なので、もっと現場に浸透してほしいと思います。ありがとうございました。
- 【委員】：作業が大変だということを、身をもって知っているだけにありがたいと思いま

す。事務局まとめていただいて感謝いたします。

【委員】：子ども子育て支援事業計画はありますが、草津市全体の教育の計画なので、幼少期の教育にも触れておく必要があることを再認識いたしました。大学生でも教えていますが、教育は低年齢ほど難しいものだと感じました。

【委員長】：皆様には多くのご意見をいただいて、審議に協力していただきありがとうございます。皆様も言われたとおり、良い計画になっていると思います。委員としての役目は終わりますが、今後も草津市の教育を見守っていきたいと思います。今後のことについて事務局で説明をお願いします。

【事務局】：9月から3回の審議会の開催で、多くのご意見をいただきありがとうございます。今後は、委員長、副委員長に修正した計画書の確認をいただいたのち、答申とさせていただきます。1月末から2月末までパブコメを実施したのち、その結果を反映した計画書を市が作成し、3月末に計画書を委員の方々に配布する予定です。

閉会の挨拶

【教育長】：委員の皆様におかれましては、3回にわたる会議において、熱心にご議論いただき、厚くお礼申し上げます。それぞれのお立場から、教育の現状や、地域・保護者・学校の様子などを鑑みながら、質の高いご議論をいただいたと思っております。この計画が、全ての市民にご理解いただけるよう、また、学校や社会教育等の場において実践いただけるよう働きかけていきたいと思っております。最後になりますが、寒い季節になりますので、ご自愛いただくとともに、これからも草津の教育のためにお力添えを賜りますことをお願いいたしまして、お礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

～会議終了～